

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎原等子、小長谷百絵、東條紀子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間
	【担当教員】 ◎ 原 等子 小長谷 百絵 東條 紀子	【研究室】 303 213 308
実務経験のある教員が担当します		
【本学の科目区分】 専門科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
【D P 1】 <input type="radio"/> 【D P 2】 <input checked="" type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input type="radio"/> 【D P 6】 <input type="radio"/> 【D P 7】 <input type="radio"/>		

到達目標	1. 老年期を生きることの意味と価値について、多角的にとらえることができる。 2. 老年期の発達課題を理解する。 3. 高齢社会の人口学的概況を理解し、高齢社会の抱える諸課題とその対応について把握する。 4. 高齢者ならびに高齢社会に貢献する老年看護の役割を考える。
------	--

授業概要	老年看護学は、老年看護学Ⅰ、老年看護学Ⅱ、老年看護学演習、老年看護学実習の4科目で構成されている。 ・老年看護学Ⅰでは高齢者と高齢社会に対する理解を学ぶ ・老年看護学Ⅱでは高齢者特有の健康課題とそれを解決するための方法を学ぶ ・老年看護学演習では高齢者への看護を実践するための課題把握から解決に至る基本的な実践方法を学ぶ ・老年看護学実習では高齢者への看護実践のプロセスを、臨地での体験を通して深化させる。 まず、老年看護学Ⅰでは、高齢社会における課題について検討し、老年看護の役割について考える。 講義のほか事前事後学習、体験学習、小グループ活動などを通して、老年看護学を学ぶ皆さん自身の高齢者に対するイメージをより豊かにし、高齢者ならびに高齢社会に対する理解がいっそう深まるよう期待する。
------	--

授業計画	1 4/10 III	老年期 老いとは何か 授業形態：講義 対面 学習課題：老年期を生きる高齢者の理解 学習内容：① 老いを生きることの理解 ② 老化と発達 備考：小長谷
	2 4/17 III	高齢社会とは何か 授業形態：講義 対面 学習課題：高齢社会の統計的輪郭 学習内容：① 日本の高齢社会の現状と問題点、諸外国の動向〔人口静態、人口動態、生命表、将来推計〕 備考：原
	3 4/24 III	高齢者のくらしの状況 授業形態：講義 対面 学習課題：高齢社会の統計的輪郭 学習内容：② 高齢者の生活の現況〔世帯構成、家計、健康状態・受療・介護、就労、学習活動など〕 備考：原
	4 5/1 III	高齢社会における社会保障制度 授業形態：講義 対面 学習課題：高齢社会の進展に伴う社会問題と対応① 学習内容：高齢者の社会保障と関連施策整備状況 備考：原
	5 5/15 III	高齢者の権利保障 授業形態：講義 対面 学習課題：高齢社会の進展に伴う社会問題と対応② 学習内容：高齢者の権利擁護〔老年差別、高齢者虐待の状況や背景、法制度〕 備考：小長谷

	<p>6 5/22 III or IV</p> <p>老化する身体の理解</p> <p>授業形態：演習 対面 学習課題：老化疑似体験 グループワーク 学習内容：加齢変化による身体面の不自由さ、生活への影響について考える 超高齢社会におけるユニバーサルデザイン、ノーマライゼーションについて考える 備考：東條</p> <p>7 5/29 III IV</p> <p>高齢者看護の現場から</p> <p>授業形態：講義 対面 学習課題：高度実践高齢者看護の実際と課題 学習内容：老人看護専門看護師2名による活動の実際と課題に関するディスカッション 備考：原</p> <p>8 6/5 III</p> <p>高齢者看護とは</p> <p>授業形態：講義 対面 学習課題：老年看護の役割 学習内容：上記の講義を通し、多様な高齢者像をもち、人生の最終段階にある高齢者に対する看護の役割を考える また、高齢者とのコミュニケーション、ユマニチュードを踏まえたかかわりについて 考える 備考：原</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：高齢化社会は今や地球の課題でありSDGsの中にも様々なテーマで検討課題にかかわっています。日本における高齢者の暮らし方や健康問題から関心をもってニュースを見てみましょう。できれば一つのテーマを絞って深く考えてみてください。</p> <p>事後学習：科目的学習を通じ、事前に自己学習した内容を合わせて、多様な高齢者に対する超高齢社会時代の看護のあり方について考えてみてください。</p>
評価方法、評価基準	到達目標1~4に対し、レポート（ワークシート）40%，試験60%として総合評価を行う。
必携図書	最新老年看護学第3版、水谷信子監修、日本看護協会出版会、2021。
参考図書・資料等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 北川公子ほか：系統看護学講座 専門分野II 老年看護学 第10版、医学書院、2025. 2) 厚生統計協会：厚生の指標臨時増刊 国民衛生の動向。 (最新号) 3) 総務庁編：高齢社会白書。 (最新号) 4) セイン, P. : 老いの歴史、東洋書林、2009. 5) バトラー, RN. : プロダクティブエイジング～高齢者は未来を切り開く、日本評論社、1998. 6) エリクソン, EH. : 老年期、みすず書房、1997. 7) アードマン, BP. : エイジズム 高齢者差別の実相と克服の展望、明石書店、2002. 8) 小藤幹恵：急性期病院で実現した 身体抑制のない看護、日本看護協会出版会、2018. 9) 日本弁護士連合会高齢者障害者の権利に関する委員会：高齢者虐待防止法活用ハンドブック第2版、民事法研究会、2014.
受講、課題、資料配布等のルール	出席日数が規定に満たない場合、筆記試験を受けることが出来ない。
教員からのメッセージ	あなたは高齢者をどのようにイメージしていますか？高齢者とは、高齢社会とはどのような社会でしょうか。超高齢社会にある現代における看護について一緒に考えていきましょう。
オフィスアワー	